

年 組 名前 :

問1

根津嘉一郎は、渋沢栄一を団長とする

何に参加し、米国でだれと会いましたか。

何に参加 :

会った人 :

問2

渋沢栄一は根津嘉一郎に、どのような

影響を与えましたか。

.....

問3

根津嘉一郎が行った社会貢献を

教えてください。

・設立 :

・建設 :

・寄付 :

・運営 :



渋沢と根津 関わり紹介

新紙幣発行記念で講演会

山梨市出身の実業家根津嘉一郎の実家を基にした根津記念館(同市正徳寺)で7日、新紙幣発行を記念した講演会が開かれ、山梨大名誉教授の齋藤康彦さんが、新1万円札の肖像になった実業家渋沢栄一と根津の関わりをテーマに講演した。齋藤さんは、根津が渋沢を団長とする1909(明治42)年の渡米実業団に参加し、米国でロックフェラーら当時の米財界の大物と接した経緯を紹介。根津が社会貢献のために巨額の支出を惜しまない米財界人の姿勢に共感し、帰国後、嘉一郎を開いている。後に武蔵高(東京)の設立や笛吹川に架かる同市の根津橋建設、県内小学校への「根津ピアノ」寄贈などの社会貢献事業を展開したことを説明した。このほか、根津が建設に尽力した高野山霊宝館(和歌山)の運営に渋沢が関与していたことなども紹介。齋藤さんは「根津は、稼いだ金を文化、社会のために使った人だった。渋沢はそんな根津に大きな影響を与えたのではないか」との見方を示した。同館は新紙幣発行を機に、渋沢と根津の功績を広く知ってもらおうと講演会を企画した。併せて8月末まで、企画展「渋沢栄一と根津嘉一郎を開いている」。

(2024年7月8日付 山梨日日新聞 15面)